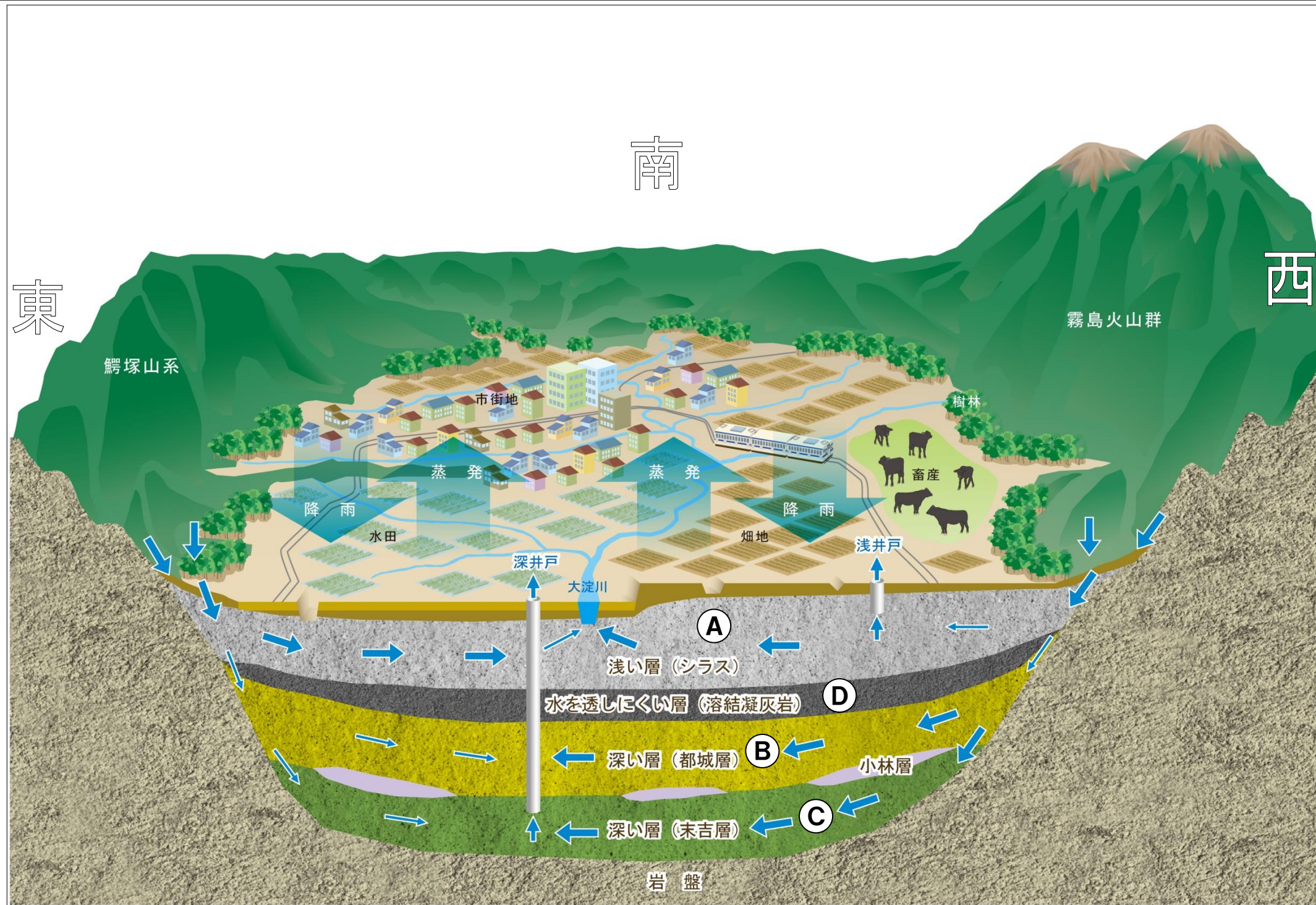
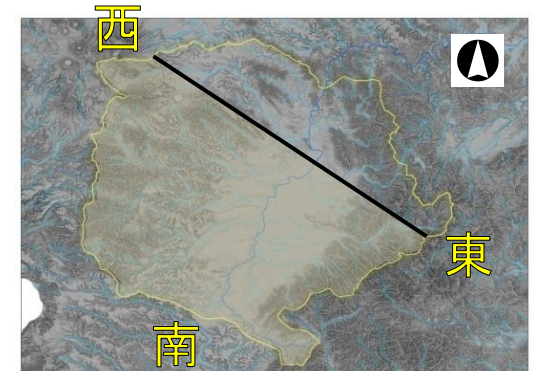


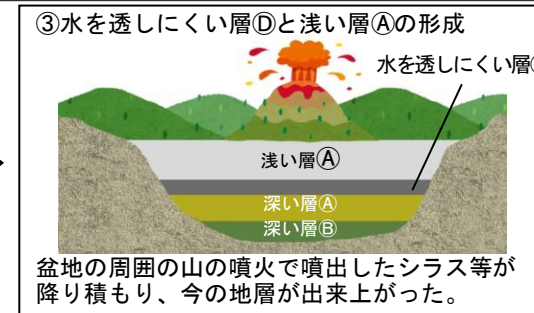
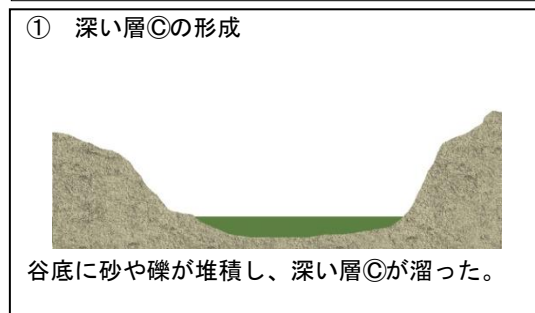
図②：都城盆地の水の動き（大淀川の下流から南方向を見渡して）



- ・盆地の地下水は、「浅い層」Aと「深い層」B・Cの2層に分かれて存在します。
- ・「浅い層」と「深い層」の地下水の間には水を透しにくい地層Dが存在します。
- ・地下水をためる器を形成する基盤の形状は南北に長い船底形をしています。
- ・この器は、霧島火山の噴火で轟のせき止められて堆積した砂や礫（都城層）や小林盆地（小林カルデラ）や錦江湾（始良カルデラ）の噴火で噴出したシラスによって埋まっています。
- ・地形や地下構造から盆地の外から流れ込む地下水はほとんどなく、盆地内に降った雨で地下水はまかなわれています。



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平 28 情使、第 1268 号）」



凡例名	データ名/資料名	データ・資料入手先
都城盆地の地質及び地下水流動の特徴	都城盆地硝酸性窒素削減対策基本計画	都城市

△注意！ 必読のこと！！ 本資料中の説明は、あくまでも説図の一例であって、確定的な分析ではありません。実際の利活用にあたっては、地元の地形・地質や地下水等に詳しい専門家の助言や監修を受けるようにして下さい。